

第35回「平和のための信州・戦争展」に出展します。

日時 2024年8月10日～12日

会場 長野県飯田市公民館（丘の上結いスクエア）

入場無料

期間中、記念館も開館しております。是非両会場でご覧ください。

この度、北一明の生地、飯田市で開催される信州・戦争展に、同実行委員会からの要請にこたえ、北一明の作品を展示することになりました。会場はJR飯田駅近くの大会議室、広さは約70㎡で、天井も3mの場所で、記念館では展示できなかった作品をご覧ください。

北一明の陶器の作品はもちろん、最近発見された書の大作も並びます。中でも杜甫の反戦詩「兵車行」は縦3m、横90cmの4枚連作で、その豪快な筆致には圧倒されます。「自嘲」は北が好んで用いた魯迅の詩の1節です。中国同盟会の革命人士、廖仲愷（廖承志の父）の言葉などを書いた書もあります。書ではありませんが原爆や戦争を告発した「被爆の灼熱」や「魂魄」などは必見です。

陶器の作品はやはりデスマスクです。「死屍累々」は、被爆し、焼け死んだ人々の無数のデスマスクの集合体で、ヒロシマ、ナガサキを象徴し、核のない世界に向けたメッセージとなっています。また陶器の作品は独自に解明した耀変天目の茶碗はじめ、いずれも北一明ならではの作品が出展されています。大皿、壺などの大型作品も是非この機会にご覧ください。

以下は当日のチラシです。

第35回平和のための信州・戦争展協賛

反戦・反核の芸術家 北一明、人と作品展

—いま飯田から世界に発信する—

北一明特別展

と き 8月10日(土)～8月12日(月)
10:00～18:00(最終日15:00迄)
ところ 飯田市公民館 3階大会議室
(丘の上結いスクエア)

入場無料

出展予定
書の大作:杜甫の兵車行(右写真一部)
原爆被爆の図他
陶器の作品:原爆被爆『死屍累々』
耀変天目茶盃他

戦争展「特別展・北一明展」が提示するもの
北一明記念館 名誉館長 田中優子

戦争を展示し知らせる目的は、戦争をしないこと、止めることにある。だから何度も限りなく繰り返して、展示し続けた方がよい。

今回、特別展「反戦反核の芸術家 北一明、人と作品展—いま飯田から世界に発信する—」が開催される。北一明の彫刻的焼き物は、核戦争の果ての「死」の実態を、余す所なく私たちに突きつける。死者はカウントされる。しかし数では無いのだ。ひとりひとりの死が、そこにある。北一明はそれを表現しようとした。

私は法政大学社会学部教授の時、毎日、北一明の陶器「泉・不戦の誓い」の前を通って学部棟に入った。それは世界を巻き込む渦の中に多くのデスマスクが浮かぶ作品で、生命と残酷な死との両方が同時に見える。彼はスリーマイル島事故の翌年から、広島、長崎、沖縄、南京、アウシュビッツ、そしてスリーマイルをテーマにして、米国と中国を中心に、世界各地で展覧会を開催し続けた。原爆と核の脅威を表現した陶芸作家として、ノーベル平和賞にもノミネートされた。

千数百度の熱で作られる北一明の陶器は、個々の「顔」が核戦争の熱によって溶けるように見える。戦争とは何か。北一明が見たものは、その残酷さなのである。それを書にもぶつけた。その文字のエネルギーも、ぜひ見て欲しい。(法政大学元総長)

飯田・下伊那と法政大学の
交わりに位置する北一明
法政大学国際文化学部教授 高柳俊男

2012年度以来、学部の留学生を引率して、飯田・下伊那を訪れている。

事前学習授業では、この地域の歴史や文化を広く取り上げているが、法政大学史との接点についても触れている。具体的には、動物物語の書き手として知られる香木村の椿樹十(卒業生)、国語・国文学研究で著名な阿南町出身の西尾実(教員)、そして疎開して当地の文化に影響を与えた森田草平(教員)の3人である。

そこに、今回展示される北一明(本名:下平昭一)を加えていくかもしれない。飯田出身の北は、メッセージ性の強いユニークな陶芸家として活躍し、また本学キャンパスに不戦・平和を願うモニュメントを残している。その事績を後世に伝えたいと願う本学関係者によって最近、実家が記念館に整備されたが、常時開館とはいかない悩みがある。

その意味で、今回「ムトスふるさど」で北一明の足跡や作品が展示されることを通じて、この郷土の人物に新たな光が当てられることを期待している。

飯田に帰ってきた北一明の作品をご覧ください

北一明記念館 館長 金田 晋

ここ長野県にも多くの名品を遺す織文土器は、平和を象徴する土の文明の顔として世界に知られています。北一明は陶芸作家、その土を表現媒体として、反戦反核を世界に訴えました。

北の作品を染めた旗をデモの先頭に立てて、米ハリスバーグの市民たちは近くのサスケハナ川を襲ったスリーマイル島原発事故に抗議しました。中国では北の作品を見るために展覧会の期間中博物館の会場に長蛇の列ができました。北の仕事場には著名な哲学者が幾人も訪れました。

その代表として、本展にはデスマスクと耀変天目茶碗を出品させていただきました。北はまた日本の誇る書をよくしていました。書は作家が全身で投じた芸術で、近年世界的にブームをよんでいます。中国展でも評判だった北の書をご覧ください。

昨年記念館を開館して、北は飯田に帰ってきました。今年本信州・戦争展に参加することによって、北は平和を願う飯伊の皆さまの仲間入りができました。有難うございました。本展の成功をお祈りします。(広島大学名誉教授)



デスマスク



北一明略歴

北一明は1934年、長野県飯田市に生まれ、その後法政大学に学び、1980年、90年代にヒロシマ、ナガサキ、沖縄、南京、アウシュビッツ等をテーマに、国内外で反核、平和を訴えた芸術家です。独学で研究を重ね、独自の耀変天目を作り、茶碗、茶壺、デスマスクを作りました。

彼の作品の一部は大英博物館、故宮博物院をはじめ各国の著名な博物館や母校の法政大学、出身地の飯田市にも收藏されております。その後飯田市に一時帰郷し、療養していましたが、2012年10月その生涯を終えました。北は生前一貫して、反戦、平和を訴え、原爆、核兵器に対する警鐘を鳴らし続けました。私たちは、今こそ北からの宿題に応えることであると考え記念館開設に漕ぎつきました。



被爆の灼熱



魯迅「自嘲」より

第35回

平和のための

信州・戦争展

大切なものは、待っているだけではやって来ません
大切なものは、失ってから悔やんでも取り返しがつきません
戦争のない幸せな暮らし・平和・民主主義・日本国憲法



早朝の宮城遙拝*1と喬木修錬道場（戦時中）



「名誉の家*2」の表札を見る（飯田市平和祈念館）

2024

8/10(土)~12(月) 9:30~17:00 (12日は16:00)

飯田市公民館（丘の上結いスクエア）

2階（多目的ホール）3階（大会議室・中会議室）

入場無料 映画のみ 1,000円（前売券）

主催：平和のための信州・戦争展飯伊地区実行委員会

後援：飯田市教育委員会、飯伊市町村教育委員会連絡協議会、下伊那郡町村公民館運営協議会、北一明記念館、信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、毎日新聞長野支局、読売新聞長野支局、中日新聞社、南信州新聞社、飯田ケーブルテレビ、飯田エフエム放送・飯田経済新聞

協賛：飯田市勤労者協議会、飯田民医連労働組合、飯田民主商工会、一般社団法人飯田ひまわり企画、伊那谷健康友の会、くまがいクリニック、高教組下伊那支部、下伊那地区労組会議、社会医療法人健和会、社会福祉法人林の杜、社会福祉法人ゆいの里、新日本婦人の会飯田支部、年金者組合、飯伊地区労連

連絡先：戦争展実行委員会事務局 090-1829-5063(原)

駐車場案内

駐車場が少ないので、できるだけ公共交通で。車の場合は乗り合わせて参加してください。公民館地下駐車場（身体の不自由な方のみ駐車可）、公民館前駐車場の他、JR飯田駅横「アイパーク」（2時間以内無料）が利用できます。

◎日程スケジュール

会場	時間帯	8月10日(土) 9:30~17:00	8月11日(日) 9:30~17:00	8月12日(月・休日) 9:30~16:00
多目的ホール (2F)	午前	ピースコンサート (10:00~12:30)	戦争体験の証言 (10:00~12:00)	映画上映③ (10:00~12:00)
	午後	開会式 (13:30~13:40) 記念講演 (13:40~15:40)	映画上映① (13:30~15:30) 映画上映② (16:00~18:00)	ピースミーティング (13:30~15:00)
大会議室 (3F)	終日	戦争展パネル展示(大会議室A・B) → 9条の会パネル展示(大会議室B) → 北一明「人と作品」展(大会議室C) →		
中会議室 (3F)	終日	731部隊証言ビデオ →		
	14:00~15:00	紙芝居を見ながら考えよう、平和、戦争 →		

※ 飯田市教育委員会の特別展示も同時に3F大会議室Dで行っています。

ピースコンサート (出演8団体) うたごえサークルやまなみ、中村 泉、ファンタップス、コーラス南信州、カナデルバンド、かほくわち、Pippin、清水 智、シングアウト (みんなで歌おう)

記念講演「イスラエル・パレスチナ紛争と世界の行方を考える —日本が取るべき道は？」
講師：鵜飼 哲 氏 (一橋大学名誉教授・松本市在住)



鵜飼 哲さん

紙芝居を見ながら考えよう、平和のこと、戦争のこと

証言「ひとりだけの満州からの引揚げ」 松澤 弘子さん
「朝鮮半島からの引揚げ」 牛山 貞子さん



QRコードから
公式サイトと
映画の予告が
見られます

映画「教育と愛国」 (齊加 尚代 監督) 映画鑑賞券1,000円(前売)
教育現場への政治権力の介入の実態を描いた映画
前売券は平安堂、実行委員からお求めください

ピースミーティング (若者たちが平和について語る場)
竜東中学校2年生「千代の満州移民」、松川高校生「満蒙記念館のボランティアガイド」、
核兵器禁止条約の締約国会議に参加して、能登半島地震のボランティア体験

戦争展パネル展示
731部隊の証言パネル展示、沖縄辺野古基地問題、原発問題、核兵器禁止条約
ウクライナ問題、イスラエルのガザ攻撃、飯田下伊那の戦争遺跡等

9条の会のパネル展示

きたかずあき

特別展「反戦反核の芸術家 北一明、人と作品展」
—いま飯田から世界に発信する—



北一明さん(1934-2012)
〔飯田市出身〕

731部隊の証言ビデオ上映

(写真注) ※1 宮城暎揮：皇居へ向かったの敬礼 ※2 「名誉の家」：「名誉の戦死」をした人の家に掲げられた表札